



国土交通省 不動産総合データベース試行運用開始！ 当試行運用の協力に構造計画研究所が参加



大切な住まいを守る

いえがるて

住宅履歴情報

国土交通省では、国内の不動産流通活性化に向けた取組の一つとして、不動産総合データベースの整備を進めております。

不動産総合データベースとは、各所に分散している不動産取引に必要な情報（過去の取引履歴、周辺環境に関する情報、および住宅履歴情報等）を集約し、一覧性をもって提供するシステムです。

今回、この不動産総合データベースの試行運用が、横浜市等との連携のもと平成27年6月1日から平成28年2月末までの予定で行われ、不動産取引における住宅履歴情報の提供により期待される効果や課題の検証を行う目的で、一般社団法人住宅履歴情報・活用推進協議会と連動し、物件売却時に住宅履歴情報をシステムに登録し、不動産総合データベースにて情報提供する取組みを試験的に実施します。

構造計画研究所は、住宅履歴情報登録サポーターとしてこの試行運用に協力しています。

- 不動産に係る情報ストックシステム基本構想の策定について [⇒こちら](#)
- 不動産総合データベースの試行運用に向けた
横浜市との連携について [⇒こちら](#)
- 不動産総合データベースの試行運用について [⇒こちら](#)
- 住宅履歴情報サービス機関の試行運用サポートについて [⇒こちら](#)